



・背表紙に文字を入れる場合、文字の大きさを幅ぎりぎりにすると背表紙の角に文字が被ってしまう可能性があります。文字の左右に少なくとも1mm程度の空きを付けてください。

・背表紙の幅が5mm未満の場合は文字が小さすぎて判読できない恐れがあります。幅が5mm未満の場合は文字のないデザインにするか、幅が5mm以上になるようページ数や本文用紙の種類を変更して調整をお願い致します。

■サイズ計算例
A5判 束幅15mmの場合

左右 317mm
内訳：3mm (塗り足し)+148mm (A5正寸)+15mm (束幅)+148mm (A5正寸)+3mm (塗り足し)

上下 216mm
内訳：3mm (塗り足し)+210mm (A5正寸)+3mm (塗り足し)

並製本 表紙作成図解

フチのない仕上がりをご希望の場合、端ぎりぎりに配置してある絵柄などは、製本の断裁作業時の微妙なずれにより、切れたり、白地が出てしまう可能性があります。

表紙・裏表紙に色・地紋・写真などを端まで配置したい場合、仕上がりより3mm外側まで絵柄を配置することが必要になります。これを「塗り足し (ぬりたし)」といいます。

塗り足し部分そのものは、最終的に断裁されてなくなりますが、塗り足し部分に絵柄がない場合、表紙に白が出てしまう場合があります。

